



# KU EXPRESS

- 関西大学 プレスリリース -

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3丁目3番35号 関西大学総合企画室広報課 TEL 06-6368-0007 FAX 06-6337-7078

2005.No.8 / 2005年7月13日

文部科学省「英語指導力開発ワークショップ事業」に採択

## 指導的英語教員を開発するワークショップを8月から実施

～指導力・英語運用力・デジタル教材作成力を柱に中学・高等学校における英語教師力を開発～

関西大学の大学院外国語教育学研究科（研究科長：齋藤 栄二）は、近畿圏を中心とした府県教育委員会との連携により、英語教員の指導的人材を開発していくワークショップを本学の関連施設で8月下旬から順次実施していきます。

このワークショップは、文部科学省の「英語指導力開発ワークショップ事業」にこのほど採択されたもので、関西大学は、応募があった14大学（海外1校を含む）の中から採択された3大学（関西大学、東海大学、宮城教育大学）のひとつとなりました。

文部科学省の「英語指導力開発ワークショップ」は、地域の英語教育の中心的な役割を果たす人材を開発するために今年度から新たに実施される事業です。

本学が実施していくワークショップでは、大学院外国語教育学研究科の教授や研究員のほか、小学校・中学校・高等学校で実践的な英語教育を行っている教師などが講師となり、教育委員会が推薦する中学・高等学校の英語教員（約50人）が参加する予定となっています。

経済・社会等のグローバル化が進展する中、十分な英語力を持たないことにより外国人との交流で制限を受けたり、適切な評価が得られにくいといった事態が生じてきています。

こうした中、自らの意見を表現できる能力「英語が使える日本人」を育成するために、英語教育の人材づくりや教育現場を改善していくことが、重要な課題となってきています。

今回、本学が計画したワークショップは、「英語教師力の開発」を目的として、授業の達人にせまる指導力の開発、英語ネイティブに近づく英語運用力の開発、現場のニーズにあったデジタル教材作成力の開発、を柱としています。

ワークショップのプログラム内容は、3つのフェイズ（段階）で構成されており、

第1フェイズ：「教師たちへのエンパワーメント」をテーマに、英語運用能力の育成と教材作成能力の開発についてのディスカッション

第2フェイズ：「授業を支えるフレームワーク固め」をテーマに、生徒の4技能（リスニング、リーディング、スピーキング、ライティング）の効果的な向上のための指導・学習方略をアク

ション・リサーチの手法を取り入れた研修

第3フェイズ:「エキスパートから学ぶ指導技法」をテーマに、小・中・高の優秀な英語達人教員から授業実践と指導技法を学び、英語教育のあり方の議論

など、理論に基づいた実践的な要素を重視しています。

また、全フェイズの修了者に対しては、本学の大学院外国語教育学研究科の単位(6単位)を認定するなど、将来の大学院就学などへもつなげていく予定です。

英語で意思の疎通が十分にできるような人材を育成するためには、現行では圧倒的に授業時間が足りていないといわれています。

このようなプログラムを通じて、英語教育の現場の改善を図り、国際化に通用する次世代の育成に寄与するとともに、地域との連携による大学の社会貢献に取り組んでいきたいと考えています。

関西大学の大学院外国語教育学研究科について

日本で初めての「外国語教育学」を専門的に教授・研究する独立研究科として、2002年に博士課程前期・後期同時開設でスタートした新しい研究科です。現在、現職の教員、社会人など、多彩な人材117名が院生として研究活動に取り組んでいます。

また、昨年11月には、京都御池中学校とIT(情報技術)を活用した英語教材開発を共同で進める相互連携協定を締結。パソコンを使った英語学習を進めるなど、授業時間のほかにも英語を学べる実践的な環境づくりに取り組んでいます。

【この件に関するお問合せ先】

関西大学 総合企画室広報課 / 川瀬 北谷

〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35 TEL:06-6368-0075 FAX:06-6337-7078

関西大学大学院外国語教育学研究科 英語指導力開発ワークショップ事業の主な内容

	主なプログラム	講師
第1フェイズ	<p><b>教師たちへのエンパワーメント</b></p> <p>英語運用能力の育成と教材作成能力の開発に的を絞り、15人程度の少人数グループでワークショップを受講。</p> <p>プレゼンテーション・ディスカッション指導能力開発コース 教室英語能力開発コース デジタル教材作成能力開発コース</p> <p>実施時期: 2005年8月22日～27日 <u>ご取材可能</u> 場所: 関西大学高槻キャンパス「高岳館」 合宿形式で実施</p>	<p>Chris Cambell (特任講師) Roger Palmer (特任講師) 住 政二郎 (研究員)</p>
第2フェイズ	<p><b>授業を支えるフレームワーク固め</b></p> <p>生徒の4技能を効果的に向上させるための指導・学習方略をスキル別に学んでいく。理論的なことを学んだあと、実際の授業でその成長を活かして、改善点を洗い出すというアクション・リサーチの手法を取り入れたワークショップ。</p> <p>リスニングの指導・学習方略 スピーキングの指導・学習方略 リーディングの指導・学習方略 ライティングの指導・学習方略 文法・語彙の指導・学習方略 発音の指導・学習方略</p> <p>実施時期: 2005年9月中旬～12月中旬の隔週日曜日 場所: 関西大学千里山キャンパス通学および e-learning</p>	<p>齋藤 栄二 (研究科長・教授) 竹内 理 (科長代理・教授) 山本 英一 (教授) 菊地 敦子 (教授) 山根 繁 (教授) 静 哲人 (助教授) 名部井 敏代 (専任講師)</p>
第3フェイズ	<p><b>エキスパートから学ぶ指導技法</b></p> <p>優秀な授業実践者に与えられるパーマー賞受賞者をはじめとした英語授業達人 (小学校1名、中学校2名、高等学校1名) の授業実践から指導技法を学んだ上で、より良い指導とはどのような条件を含んでいなければいけないかを議論し、明日の指導のみならず、将来の教員研修のあり方についても考えていく。</p> <p>実施時期: 2006年1月22日～26日 場所: 関西大学高槻キャンパス「高岳館」 合宿形式で実施。</p>	<p>齋藤 栄二 (研究科・教授) 管 正隆 (文部科学省初等中等局教科調査官) 稲岡 章代 (姫路市立豊富中学校) 梅本 多 (河内長野市立天野小学校) 直山 木綿子 (京都市教育センター) 中西 浩一 (高槻市教育センター)</p>